

## 1. 中期計画策定の背景と位置づけ

NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会（以下、通称：「ひろば全協」と記す）は、「子育てひろば」の運営に取り組む団体・個人の全国的なネットワークとして、2007 年に設立された。設立から 16 年が経過する中で、地域子育て支援拠点等の「子育てひろば」の趣旨・役割を確認しながら、情報共有、相互交流、調査研究、研修などを行い、会員数も 2022 年度末で 1428 会員となっている。

2023 年 4 月からは、こども家庭庁がスタートし、「こどもまんなか」社会の実現に向けた施策の取り組みが始まっている。行政のみならず、地域や企業も含めた社会全体で子育て家庭を支えていこうという機運への期待も大きい。その一方で、少子化や子育ての孤立化、貧困や虐待の問題など子育て家庭を取り巻く問題はますます深刻化しており、安心して子育てができる環境づくりは喫緊の課題となっている。そこで、こども・子育て支援に関する施策の大きな変革が予定されているこの時期、ひろば全協としても、これまでの活動を振り返り、創出してきた価値をあらためて確認するとともに、現状の課題や社会情勢も見据えながら、今後の方向性を定める中期計画を検討することとした。

中期計画の策定にあたっては、会員や研修ファシリテーター、有識者の先生方にもご意見を伺うと共に、理事それぞれが定款に基づいたミッションを再確認し、目指すべき姿を見出すためのワークショップや検討会議を 1 年にわたって展開してきた。

今回の中期計画は、2023 年度から 2025 年度の 3 年間を視野に入れて策定し、理事や法人事務局のみならず、会員の皆様とともに実現していくものであるということを提案するものである。

## 2. 現状認識（価値の再確認）

### ●ミッションの再確認（目指してきたこと）

ひろば全協は、定款の第 2 章に下記のように記している。

#### 『第 2 章 目的および事業 (目的)』

第 3 条 この法人は、子育てひろばを運営している団体・個人に対して、全国的なネットワークを組織し、子育てひろばの趣旨・役割などを確認しながら、情報の共有、相互交流を行うと共に、調査研究、研修などの事業を行い、子育てひろばなど地域子育て支援の質の確保と向上に寄与することを目的とする。』

この定款に基づいて、会員組織を構築し、地域子育て支援拠点等の子育てひろばの支援の質の向上に努めるということを今回の中期計画の策定の際に再確認しつつ、常にその価値に基づき社会に貢献できるよう、中期計画に定めることとした。

### ●創出してきた価値（実現してきたこと）

#### (1) 研修およびセミナーの企画・実施

基礎研修/応用研修/中堅者研修・地域子育て支援士二種/一種養成講座・初任者研修・子育て支援コーディネーター養成講座・利用者支援スキルアップ講座・予防型プログラム研修・オンライン子育て支援入門講座・プレママ・プレパパ向け講座のためのワークショップ・厚生労働省委託事業・公開セミナー・各種フォーラム等

#### (2) 調査研究・研修プログラムの開発

厚生労働省調査研究事業の実施・「地域子育て支援拠点事業における活動の指標『ガイドライン』」の編集・アウェイ育児の調査等

#### (3) 会員支援・ネットワーク

リーダーシップ研修・利用者支援専門員（基本型）のひろば・テーマ別交流会・ブロック別交流会・ひろばコンサルテーション・情報紙・メールニュース・ひろば保険等

#### (4) 出版・啓発活動

「0123 育ちの詩」発行・「子育てひろばエッセイ & フォト」発行・「備えの 1 2 3」等の冊子発行

#### (5) 政策提言や意見書等の提出

国への意見書の提出、子ども・子育て会議など各種委員会への出席

### 3. 中期計画ビジョン

#### キャッチフレーズ

## 『ともに支える。こどもと家庭に寄り添う拠点』

「ともに支える」には、会員、地域、行政、企業等、多様な関係者と「ともに」ネットワークを築き、こどもと家庭を支えるために、私たちの役割を発揮するという思いを込めている。

さらに地域子育て支援拠点の強みである「寄り添う」専門性をさらに向上させて、こどもと家庭のエンパワメントに寄与する拠点の価値を強調している。

#### 中期計画ビジョン（重点テーマ）

##### 重点テーマ①

#### 地域子育て支援拠点の価値の発信と社会的認知度の向上

こどもを授かったときから、子育て家庭の身近な支え手として、家庭と地域のかけ橋を担ってきた価値を会員、利用者、自治体、企業等関係者とともに社会に発信し、地域子育て支援拠点のさらなる社会的認知度の向上を目指す。

##### 重点テーマ②

#### 会員とともに育てる豊かな地域子育て支援

地域子育て支援拠点等、「子育てひろば」の運営に取り組んでいる会員とともに、情報共有、相互交流、調査研究、研修などを行い、地域子育て支援の質の向上をはかる。

##### 重点テーマ③

#### 企業や行政をはじめとした多様な関係者とのつながりの強化

子育てに優しい社会を目指し、ひろば全協が多様な関係者とつながることで、会員団体の地域ネットワークの広がりを応援する。

#### 上記を実現するための管理部門の重点テーマ

- ・組織体制の中長期的な見直し
- ・WEB サイトのリニューアル

#### 4. 目指す成果（期待される効果）

2023 年度～2025 年度にかけて、中期計画を実行することで、以下のような成果を目指す。

- (1) 子育て家庭
  - ・妊娠期から拠点を利用することができ、こどもが生まれたら頼れる居場所であると広く認識されている。
  - ・何かあれば気軽に相談ができて、多様な支援サービスにつないでくれる場と認識されている。
- (2) 会員
  - ・多様な会員を受け入れ、会員数が増えている。
  - ・地域ブロックごとの支援が充実し、会員同士の交流が進んでいる。
  - ・多様な研修機会が用意され、研修の充実が図られている。
- (3) 地域・行政
  - ・施策に活用できる拠点の成果が公表されている。
  - ・地域や行政との連携がすすみ、拠点の存在価値が高まっている。
- (4) 専門機関・近隣領域
  - ・拠点の専門性が理解され、ともに活動する機会が増えている。
  - ・共同研究・共同調査等が進んでいる。
- (5) 企業
  - ・協賛企業が増えている。
  - ・拠点で CSR やボランティアをする従業員が増えている。

#### 5. 2023 年度アクションプラン

##### 重点テーマ①地域子育て支援拠点の価値の発信と社会的認知度の向上

- (1) 妊娠したら、育休とったら、拠点へ GO！キャンペーンの実施  
プレママ・プレパパ向けの WEB サイトの充実や SNS の発信に取り組み、地域子育て支援拠点の認知度アップに努める。また、企業に対しても拠点の価値を伝えることで、プレママ・プレパパへの拠点紹介やボランティアの受け入れなど連携の機会を増やす。
- (2) 拠点で取り組む最新情報の発信  
テーマを決めて会員にアンケートを実施し、WEB 公開することで拠点の取組をアピールする。

##### 重点テーマ②会員と共に育てる豊かな地域子育て支援

- (1) 会員間のコミュニティづくり
  - ・テーマ別交流会など課題に沿った交流会等を実施し、情報交換と学びの場を提供する。
- (2) ひろば全協への意見を収集しニーズに沿った事業を実施する
  - ・メールニュースなどでアンケートを実施し、会員の意見を聴くことでニーズに沿った事業を実施する。

##### 重点テーマ③企業や行政をはじめとした多様な関係者とのつながりの強化

- (1) 地域連携につながるきっかけづくり
  - ・会員が地元企業と連携するために、プレママ・プレパパ支援のパンフレットの活用方法を提示する。
- (2) 会員団体が地元行政と対話ができるようにサポートを強化
  - ・各自治体の施策に反映するために、各種フォーラム、テーマ別交流会やリーダーシップ研修等において、情報提供や行政との連携方法を共有する。
- (3) 地域子育て支援に関する事例やノウハウを共有するための WEB サイトの構築
  - ・調査報告書や最新の行政情報が閲覧できる WEB サイトを充実させる。